

令和元年度(平成30年度実施事業分)事務事業評価評価票

No. 10-006

PDCA	事務事業名	個人番号カード交付事業	部課等名	市民経済部 市民課 住民記録担当	担当 内線等	竹内 306	
P 総合計画との関係性等	政策体系	章： 第6章 自立した地域経営のまち					
		節： 第1節 行財政運営とサービスの向上					
		基本施策： 1. 行政運営					
		単位施策： (2) 市民サービスの向上					
根拠法令等	行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律						
対象・目的	個人番号カードは、住所、氏名、生年月日、性別の4情報と顔写真が記載され、公的な身分証明書や各種行政サービスの閲覧、各種手続きに利用できる。						
目的を達成するための手段・活動内容	住民票を有する市民に個人番号を付番、通知カードを送付し、申請のあった市民に個人番号カードを交付する。						
D 前年度の活動結果と見られた成果	活動結果	活動実績	28年度	29年度	30年度	単位	
		①個人番号カード交付枚数	4,884	3,273	2,472	枚	
		事業費	19,680	9,660	5,239	千円	
		人件費	14,660	13,220	13,065	千円	
		総事業費	34,340	22,880	18,304	千円	
		活動単位当たりのコスト	28年度	29年度	30年度	単位	
		①個人番号カードの交付処理・管理コスト	7,031	6,990	7,405	円	
	成果	成果指標	28年度	29年度	30年度	単位	
		①個人番号カード交付率	実績値	9.65	12.36	14.47	%
			目標値	20.0	25.0	20.0	
		②	実績値				
			目標値				
		③	実績値				
	目標値						
C 課題の整理	観点別評価	必要性	有効性		効率性		
		①市の関与の妥当性 法定事務	④上位施策への貢献	中程度	⑦コスト削減余地	ない	
		②市民ニーズ	⑤成果向上の余地	ある	※対象・手段の変更		
	事業の評価・課題	③休廃止の影響	大きい	⑥類似事業の有無	ない	⑧受益者負担適正化余地	
		C					
		住民異動の手続きをされた方を対象に、写真撮影と個人番号カードの申請受付を行ったところ、2か月で122件の申請があった。また、11月から12月の日曜日に、市役所で写真撮影とカードの申請受付を行ったところ、3日間で749件の申請があった。偶数月の第1日曜日にカードの交付窓口を開設し、市民の利便性及び交付率の向上に努めた。					
A 課題解決のための目標	今後の事業の方向性	改善推進					
		市民の利便性を図り、引き続き日曜日の申請受付や交付窓口の開設を行う。また、半田市内の企業や高校など、市民にとってより身近な場所で出張申請受付を行うことで、交付率の増加を図る。					
	令和元年度の目標	成果指標	目標値			単位	
		①個人番号カード交付率	20.0			%	